

一人の命を救けるために

なぎさ小六年一組岸下 彩香

私は中野さんの話を聞いていてとにかく

震災などが起きずに世界の人々をしあわせに

したい。という気持ちがあつてきま

た。私達は日本で起きた大震災の時私は神戸

にいました。ですが生まれて1ヶ月あ

出来事はなにも覚えていません。

一九七五年午前五時四十六分死者六千四百三

十四人けが人四万三千七百九十二人こわれ

てしまつた家二十四万九千八百八十棟話を聞い

ただけで心にひびき体験した人々はもよよ

か、たか、し、うし自分の知り合いか友達か危

な事になつたり亡くなつてしまつたりすると

よつてもかなしいと思います。中野さんにネロ

ルに行き「震災体験」を伝えたよ聞きました。

ネロールでは「震災体験」以外にも一人の命

をよう工夫すれば守れるか」などを絵本など

を使つて教えてあげて私はその話を聞いて涙

かたさうになりました。実際に体験した子達

がすごいかわいそうです。

阪急大震災を経験した人は当時大変だ、たと
聞きました。水も出ないのでご飯を使、たりト
イレに行、たりするのが出来な、たので大
変だ、たらしいです。

私は将来「おランティ」をやる人になりた
い。す。な、て人の命を救、たりうしな、かけ
た、をたすけた、なと思、て、います。